

院が費用を肩代わりして約30人に貸し出しているという実態にあるほか、特に、子ども用の義手は貸し出しや訓練ができる施設が少ないため、待機中の方もいるとのこと。

しかしながら、一方で、義手は約150万円と高価なうえに耐用年数が5年程度なため、病院の負担は大きいことが、寄付を募るに至った背景にあるようです。

寄付については、税制上の優遇措置が認められ、兵庫県社会福祉事業団で受け付けるほか、不要な筋電義手の提供についても呼びかけを行い、1人月1,000円（低所得者世帯は無料）で貸し出す予定で、東大医学部附属病院とも連携することにしています。また、兵庫県も3,000万円を上限に集まった寄付と同額の資金をバンクに援助することとしており、全体での目標金額は6,000万円をめざ

しています。

同病院では、今回のバンクの成功により、訓練用の義手にも補助金の対象が広がるきっかけになればとの期待もしています。

お問い合わせは、兵庫県立リハビリテーション中央病院・経営企画課（代表電話078-927-2727）まで。

Information

H.C.R. 2014ご出展企業・団体の皆さまへ 主催者企画への出展製品の展示・貸出 ご協力をお願いしています！

H.C.R. 2014では、展示会場内の特設会場などでの来場者に対する福祉機器の情報提供や、機器に実際に触れて、知っていただくための主催者企画やコーナーを今回も予定しております。

そこで、これらの企画に対して出展製品の貸出のご協力をいただける企業・団体を、以下の要領で募集いたします。

該当する製品を出展される企業・団体の皆さまのご協力を、よろしくお願いいたします。

1. 障害児のための「子ども広場」

障害のある子どもの発達段階において、福祉機器の利用は成長や生活などの面で大きな可能性を拓けるものです。そこで、H.C.R. 2014では、子どもむけ福祉機器の開発・普及、適切な利用を目的として「子ども広場」を会場内に設置し、これらの機器を集中展示するとともに、情報提供や相談を行います。

については、同広場に展示する子どもむけ福祉機器の貸出についてご協力をいただける出展企業・団体を募集いたします。

なお、ご提供いただいた製品については、パネルに協力出展社名、小間番号、製品名を掲載して展示させていただくほ

か、当日配付の「特別企画」パンフレットなどで紹介させていただきます。



1. 貸出対象製品

H.C.R. 2014出展製品のうち、下記ゾーンに該当する子ども向けの福祉機器・用具

①車いす ②バギー・歩行器 ③いす・カーシート④学習機器／コミュニケーション機器 ⑤食事用具・食器／衣類・靴

2. ご協力の連絡先

2014年7月31日(木)までに「出展細則」内同封の「協力用紙」をご提出ください

2. 車いす貸出コーナー

本展示会では高齢者や障害者の来場を多数予定しており、

会場内を移動する手段として車いすの貸出への要望が多く寄せられています。そこで、H.C.R. 2014では、来場者への配慮の一環として、車いすの貸出コーナーを設置いたします。

つきましては、貸出させていただく車いすをご提供いただける出展企業・団体を募集いたしますので、ご協力をお願いいたします。

なお、当日は、協力出展社名、小間番号、貸出を行う車いすの製品名、製品PRなどを記載したチラシを作成して同コーナーにて配布するほか、実際に車いすを使用された来場者にアンケートを実施し、その結果を提供いたしますので、今後の開発などにお役立ていただければ幸いです。

1. ご協力いただきたい機種

電動車いす、電動三輪・四輪車

2. ご協力の連絡先

2014年7月31日(木)までに「出展細則」内同封の「協力用紙」をご提出ください



それぞれの募集要項などの詳細は、「出展細則」内に同封させていただきますので、ご確認ください。

H.C.R. 2013 国際シンポジウム報告書

「活力ある高齢化と世代間連帯へのドイツの挑戦～公的年金をめぐるパラドックスの解決策となるか?」を刊行

少子高齢化などに伴い、いかにして社会保障制度の維持存続を図っていくかが欧米各国に共通した喫緊の課題となるなか、財政難などの問題も抱えるわが国では、厚生年金の支給開始年齢の段階的な引き上げのほか、政府の「社会保障制度改革国民会議」におい



て、年金制度の持続可能性を担保するために負担増と給付減をさらに進めること、年金機能の強化や財源の一元化、長寿化のなかでも働ける生涯現役社会づくりなどの方向性が示され、2014年4月からは社会保障財源の確保のための消費税率の引き上げも実施されました。とりわけ、介護分野については、現状8.9兆円の2倍相当の介護保険の財源をはじめ、介護人材についても100万人の増員が必要とされ、国民的課題となっています。

一方、経済危機の影響が残るなか、ヨーロッパ各国も同様の課題に直面し、むしろ、日本よりも先行して本課題に対応できる制度への再編を進めています。たとえば、ド

イツでは、定年年齢、年金支給開始年齢ともに段階的に引き上げることを決めたほか、早期退職から高齢者雇用に政策の軸をシフトして、将来に向けた制度を新たに打ち出しはじめています。

そこで、H.C.R. 2013国際シンポジウムでは、介護保険などわが国との制度的な類似点が多く、EU諸国の経済建て直しにリーダーシップを発揮する一方で、自国内の社会保障制度の将来設計にも注力しているドイツに焦点をあて、年金制度や高齢者雇用の問題などを中心に、ドイツの高齢者福祉施策についての特徴や考え方、現状と課題などをレポートいただき、超高齢化へと向かうわが



国の社会保障制度の改革の動きと今後のあり方について考察しました。

○ 平成25年9月19日

参加者：267名

会場：東京ビッグサイト会議棟6階「605-608」

○ シンポジスト：

Manfred Wienand (マンフレッド・ヴィーナント) 氏
SRHハイデルベルク大学社会法律学研究室 社会法教授、
元ドイツ公私福祉連盟 事務局長

○ チューター：

近藤 純五郎 氏

元厚生労働事務次官、弁護士

一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 理事長、弁護士、
元厚生労働事務次官

このたび、シンポジウムの内容を分かりやすくまとめ、報告書として刊行し、以下の要領にて販売を開始いたしました。

① 編著者、発行所：一般財団法人 保健福祉広報協会

② 企画：A5判／66頁

③ 価格：700円（税込、送料別）

④ 発行：2014年3月

※「送料」と、「代金引換」もしくは「代金振込」に関わる手数料は申込者負担です。

※詳しくは、本会ホームページ (<http://www.hcr.or.jp>) の「出版物のご案内」をご覧ください。

H.C.R. 2014 ビジュアルデザインが決まりました

H.C.R. 2014のビジュアルデザインは、曾谷朝絵氏作の「Mountain」に決定しました。展示会のポスターをはじめ、DMハガキ、福祉機器ガイドブックの表紙などのデザインとして使用させていただきます。

